

皆さんの声をまちづくりに活かすために

ハートフル対話2011を開催中



町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話2011」を、9月26日から11月24日にかけて開催しています。

今年度は、きめ細かく町民の皆さんのご意見をお伺いするため、町内の16会場で計21回開催します。

ハ

ートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層の理解と関心を持っていただくとともに、各会場で伺ったご意見をまちづくりに活かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

9月26日、28日、29日、10月3日、7日には、丹生、竹波、菅浜、けやき台、佐田を対象に開催しました。

今回のハートフル対話では、福島第一発電所事故後の町の対応や、重点施策である「健康づくりの推進」「生涯学習の推進」の協

働の推進」等について説明しました。その後、参加された方からの質問や意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。今月号では、対話の中でいただいたご質問やご意見の一部を紹介します。



原子力発電所について

問 定期検査中の発電所の再稼働について、どのような考えなのか教えてください。

答 美浜1号機と3号機は、現在定期検査中であり、2号機のみが稼働している状況です。しかし、2号機も11月下旬から定期検査に入るため、それ以降は町内すべての発電所が停止することになります。

町では、国に対して、福島第一原子力発電所事故の徹底した原因究明と、予測・予知できない想定外の事態も考慮した安全対策を講じるよう要望してきました。

また、県は、福島の事故は津波だけでなく、地震そのものや高経年化の影響がなかったのか、また浜岡原子力発電所停止の根拠が十分に示されていないと考えており、それに対する回答がなければ、再稼働には応じないという立場をとっています。

安全が確認されれば、再稼働は可能だと考えていますが、県とも歩調をあわせながら、対応していきたいと思っています。

問 「脱原発」の世論が高まっていますが、新しい発電所の建設について、どのような考えなのか教えてください。

答 発電所の運転期間を明確にして

その時期がきた発電所は廃炉にし、代わりに新しい発電所を建設する「リプレイス(置き換え)」は、必要だと考えています。

福島の事故以後も、原子力は重要であるという考えに変わりはありません。これは、環境問題に配慮し火力発電の割合を減らす必要があることや、原子力技術の輸出にはその技術者(人材)の育成を欠かすことができないと考えるからです。

野田首相は、原子力発電所14基の新規増設等を盛り込んだ既存のエネルギー基本計画を白紙から見直すとしており、来夏を目処に新たなエネルギー政策の方針を打ち出すと表明しています。

今後は、嶺南地域の発電所立地自治体と連携して、国のエネルギー政策議論が進められる中で、適切な時期に具体的な提言活動も行っていきたいと思っています。



↑ 松下経済産業副大臣に福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策を求めめる山口町長(4月4日)

敦賀半島の県道について

問 県道佐田竹波敦賀線は、5月に北田・菅浜間で土砂崩れが発生し、現在片側通行となっております。町民の生活道路であり、発電所へ続く重要な道であるにも関わらず、県の対応は遅いように感じますが…。

答 土砂崩れは、当初は表層部分だけの崩落と思われていましたが、調査すると山の頂上までクラック(裂け目)がある状態でした。海の方に仮設道路を設けて山を切土する案もありましたが、工事期間が長くなり工費も多額になるため、今は片側通行で山を切る方法により工事を進めています。

工事は今のところ来年1月頃までかかる予定ですが、県へは、できるだけ早く完了するよう要望を続けていきたいと思っています。



↑ 県道佐田竹波敦賀線で発生した土砂崩れ

問 原子力発電所へ通じる道路(アークセブ道路)を新たに整備する計画はあるのですか？

答 敦賀半島にある発電所へ通じる道路は、降雨や地震等の自然災害に対して脆弱と言わざる得ない状況です。町では、震災発生以前から、万が一の事故発生時に対応要員や資機材等を輸送する経路と、町民の避難経路の確保を目的とした道路整備について、県へ要望してきました。

県では、福島第一原子力発電所事故を踏まえて、佐田・丹生間と白木・浦底間にバイパス道路を整備する計画を検討しています。

9月から、ルート選定に関する調査及び概略設計を開始しており、今年度中に調査を完了する予定です。

災害時の避難場所について

問 各集落の避難所の中には海沿いに位置するものもあり、大津波が襲来したら機能しないと思います。津波の場合は、どこに避難すればよいか示してください。

答 3月11日の震災を受けて、国は、今年度、津波災害等に対する防災計画の見直しを行っています。

この計画を参考に、避難所等の再検討を行っていきたく考えています。

小学校の再編について

問 子どもの数が減ると、小学校の統廃合を進めていく必要があると思います。統廃合について、どのように考えているのか教えてください。

答 教育委員会では、今後の望ましい教育環境の在り方を調査するため、調査委員会を設置しました。この委員会では、保護者や地域の方々を対象にアンケート調査を実施し、小学校の再編についての考えをお聞きしているところです。(実施校区：丹生小、菅浜小、美浜北小、新庄小)

今後は、アンケート結果を公表し、皆さんと話し合いながら答えを出していきたいと思えます。

産業の振興について

問 観光や漁業の振興策について、考えを聞かせてください。

答 観光については、4期目の施策の中に「美浜の資源を活かした観光の振興」をあげています。昨年度から、町外の有識者に美浜にどのような資源があるかを調査してもらい、新しい資源の掘り起こしを行っているところです。

漁業振興として、日向に大敷漁船を整備する予定ですが、これを体験型観光にも活用したいと考えています。また、漁業組合と協力して、漁

業の後継者づくりにも取り組んでいきたいと思えます。

生涯学習センターについて

問 生涯学習センター「なびあす」の完成を楽しみにしています。完成はいつですか？また、講座メニューを教えてください。

答 来年8月に完成する予定です。「なびあす」では、定期講座や生涯学習講座、高齢者大学だけでなく、町民が主体となる企画講座・自主講座も拡充していきたいと思っています。

また、施設内には、落ち着いた環境で自主学習ができるよう無線LANを配備した喫茶ルームや休憩所を整備します。図書館の資料や閲覧スペースも充実させ、開館時間についてもニーズに応じて検討していきます。

「なびあす」を皆さんと一緒につくっていききたいと考えているので、どんなご意見をお願いします。



↑生涯学習センターは町役場西隣に建設中です

デイサービスセンターの駐車場について

問 デイサービスセンターほほえみ(佐田)の駐車場は、傾斜があり危険です。早急に改善をお願いします。

答 ご指摘のデイサービスセンターは、平成12年度に建設しました。

建設にあたって最重点としたことは、利用者の容態が悪くなつた場合、すぐに医師の対応できる環境づくりでした。これを実現するために、隣接する東部診療所との間でバリアフリー化を行い、これまで利用者の緊急時には迅速な対応をしてきました。

バリアフリー化の実施には、構造上、診療所とデイサービスセンターの建物の高さを合わせる必要があります。また、用地に面している県道は、海側に急勾配で傾斜しています。このため、県道からセンターへの進入路と駐車場に、現在の勾配がつくことになりました。

自家用車で通所する利用者の安全確保については、センター送迎バスがない場合は、正面玄関口(フラット面)まで自家用車で乗り入れてもらっています。また、正面玄関まで入れない場合は、センター職員が自家用車まで行き、付き添って手助けを行う等、安全対応をしているところです。

今後とも、利用者の安全確保には

万全を期していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

住宅用太陽光発電設備について

問 住宅用太陽光発電設備を設置する場合、補助制度はあるのですか？

答 町では、平成21年度から、住宅用太陽光発電設備の設置費助成制度を実施しています。

助成額は上限を4kw/hとして、1kw/hあたり12,000円です。これに国と県の助成制度を併用すると、1kw/hあたり最大96,000円の助成を受けることができ、4kw/hでは384,000円になります。

制度の詳細は、町住民環境課(☎32-6703)へお問い合わせください。



↑住宅の屋根に設置された太陽光発電設備

獣害対策について

問 シカやイノシシ等から農地を守るために、町内の山際に侵入防止柵を設置していくのですが、柵から外れる農地にも何らかの対策をお願いします。

答 侵入防止柵は総延長が約100kmになる予定で、昨年度は新庄に約10km分設置しました。設置によって、害獣の侵入が止み、大きな効果を上げています。

今後柵の設置が進めば、その地域の駆除隊には、柵のない地域を重点的に回って頂くようにしたいと思います。

人口の減少について

問 人口減少に対して、どのような施策を行っているのですか？

答 町では、これまで若者の定住や増加を図るために、雇用の場の確保や子育て支援を行ってきました。

企業誘致では、3社の実績があり、子育て支援では、中学生以下の医療費無料化や手当の支給等を実施しています。

当町の人口減少のペースは当初の予測よりも遅くなっており、今後は、企業誘致や子育て支援に加え、住む場所の確保として宅地造成にも取り組んでいきたいと思えます。

総合運動公園について

問 総合運動公園は、体育館・野球場・テニスコートと素晴らしい施設が備わっていますが、親子で利用できるような大型の遊具等を設置してはいかがでしょうか？そうすれば、休日には家族連れで賑わうと思います。

答 現在、総合運動公園内のピオトーブ広場に遊具を設置しています。本年度、古い遊具を修繕し、幼児向けコンビネーション遊具と滑り台を新たに整備しました。また、約1,400㎡の芝生広場も整備しました。

ご意見いただいた大型遊具の設置ですが、久々子湖畔にあることから国の名勝指定を受けている関係上、高さや色、形状の制限があります。

今後は植栽も増やし、規制を守りつつ、自然環境に親しみながら遊べる施設づくりを行っていききたいと考えています。

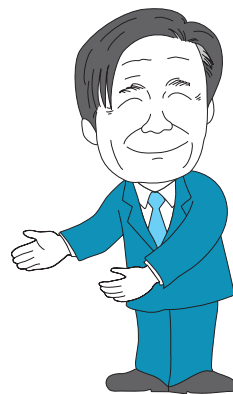


↑本年度設置したコンビネーション遊具(上)と滑り台(下)

ハートフル対話 にご参加ください！

開催日	開催時間	会場	集 落
10月24日(月)	19:30~	美浜南小学校	久々子・矢筈
10月27日(木)	19:30~	早瀬観光センター	早瀬・笹田
11月 1日(火)	19:30~	若狭医療福祉専門学校	気山・大藪
11月 2日(水)	19:30~	金山生活改善センター	金山・久保
11月 7日(月)	19:30~	美浜中学校	和田・木野 佐柿・小倉
11月 9日(水)	19:00~	郷市児童館	郷市
11月10日(木)	19:30~	美浜中学校	河原市・栄
11月15日(火)	19:30~	美浜町文化会館	南市
11月17日(木)	19:30~	美浜中学校	麻生・中寺 宮代・小三ヶ 雲谷
11月21日(月)	19:30~	新庄山村開発センター	新庄
11月22日(火)	19:30~	はあとびあ	野口・佐野 上野
11月24日(木)	19:00~	興道寺農業研修センター	興道寺

ハートフル対話は、引き続き開催しています。
対象集落以外の会場でも、参加していただくことができます。



※お問い合わせ先
町企画政策課(担当・三田) ☎32-6701